



令和4年3月16日  
小田原市立酒匂幼稚園  
園長 向笠 弘子

さ:最後までがんばる子 か:感じる心をもった子  
わ:わくわくしながらチャレンジする子

幼稚園の花壇に水仙の花が咲き、ほし組の卒園の時を知らせています。第3学期が始まったときに園生活が残り少ないことに気付いた子どもたちは、「いっぱい遊ばなくちゃ!」と、言ったそうです。3学期を振り返り、遊びを継続する中で友達と考えを合わせ新たに創り出したことを共有し発展させていく姿に、たくましさを感じています。きっと、小学校生活でも、そして、その先も周囲の人と協力しながら課題にチャレンジし沢山のことを解決し創り出していってくれることと思います。職員一同、これからも、子どもたちが心身ともに健やかに育っていくことを願っています。保護者の皆様、温かいご理解ご協力、ありがとうございました。

### 幼稚園のことをよろしくね! (年長から年少への引継ぎ)

気持ちよく生活できるように挨拶当番の放送やそうじ、大好きなカメが元気でいられるようにカメの世話など、今までほし組は、年長組として、みんなの生活がより良くなるように沢山のことに取り組んできてくれました。卒園を控え、年少さんに沢山のことに中から、挨拶当番とカメの世話を引き継ぎました。やり方を知らせる中で、友達と考えを合わせることや力を合わせる姿を見せてくれました。おかげで、3月に入ってさくら組も、教えてもらったことを思い出しながら、友達と一緒に挨拶当番やカメの世話をしています。リレーが大好きだったほし組は、園生活のバトンもしっかりと次の年長組に渡していました。



今からカメを引っ越しするね。見ていてね。

放送するから聞いていてね。



### おおきなあれ! (第2学期のさかわっこの育ち)

3学期の始業式で、ほし組に『自分でできることは自分でする』『友達と協力して考えたことをする』『友達と助け合う』の3つのお願いをしました。(詳しくは園だより冬号をご覧ください。)ほし組さんは、この3つのことを、しっかりとやり遂げました。

#### 健やかな心と体の子

生活に必要な準備や片付けはもちろん、遊びも子どもの力だけで進められるようになりました。ドッジボールは、ボールの数が多いときには3つになり、判定も難しくなりますが、知らせ合って進めていました。



#### 考えたことを実行する子

友達と頭を寄せ合って話し合う場面がたくさん見られました。納得値を見出して考えを合わせ、友達と思いや考えを共有して、それを表現し、様々な遊びを創り上げていました。



#### 助け合う子

「今日は〇〇しよう!」と、自分たちで時間を決め集まることを、子どもたちが自ら始めました。いない子を探したり、状況を知らせて待たたりなど、『みんなで!』という気持ちの育ちを感じました。



# げんきいっぱい、ドッジボールだいすき☆ほし組☆

卒園式が近づき小学生になる喜びと、幼稚園で遊べる日をカウントダウンする寂しさを感じながら全力で遊んでいます。気立てが良く、自分のことを置いて、困っている友達を助けることができる優しさ、グループやクラスでの話し合いに自分の考えを出して友達の考えを取り入れて一番良い方向を考えて決めていく力、好きなことに没頭し、友達と創り進めていく力、苦手なことに向き合い挑戦することや出来ることを少しずつ積み重ねていって大きな目標にたどり着くこと、友達一人一人の良い所に気がつき、認め合うこと、この2年間で心も体もとても大きくなったほし組さん。『さ・か・わ』の通り、伸び伸びと育ち、胸を張って小学校へ送り出せます。



## ㊦ さいごまでがんばる子

自分で目標を決めて何度も繰り返し挑戦しました。



## ㊧ 感じる心をもった子



## ㊨ わくわくしながらチャレンジする子



保護者の皆様へ

コロナ禍というこれまでと違った形での生活に戸惑い、不安も多かった2年間、保護者の皆様のご理解、ご協力をいただき、無事に子どもたちを小学校へ送り出せること、大変感謝いたします。本当にありがとうございました。子どもたちいろいろな経験ができたことはかけがえのない宝物となりました。これから先も子どもたちの良い所が存分に発揮され、自分たちで豊かな人生を創り切り開いていってほしいと思います。子どもたちのキラキラと輝く笑顔がこれからも光り輝き渡りますように。2年間、本当にありがとうございました。 吉川、佐々木、大内、川瀬

年少の頃♡



## 思い出いっぱいのお別れ会

特別な事情により延期になったお別れ会。計画も子どもたちや保護者の方の安心・安全を考慮した形に変更していただき、ありがとうございました。当日は、少し離れたところから見守る保護者の方へ、子どもたちが今までやってきたダンスや歌を披露しました。歌を歌うときの子どもたちの立ち姿は1年生のようでした。お家の方への今までの感謝の気持ちと、1年生になるという自覚の顕れだと感じました。保護者の皆様には、子どもたちの園生活を見ていただく機会が少なく、不安もあったことと思います。そのような中、今まで温かく見守り、ご理解ご協力いただきましたことに、心より感謝いたします。



保護者にあじがとうの気持ちを届けようと、ダンス・歌・言葉のプレゼントをしたお別れ会

## 地域の宝

3月4日。この日は、お別れ会が開催されるはずだった日。青少年健全育成協議会長の今屋さんが、子どもたちにプレゼントをもってきてくださいました。一人一人に渡されたプレゼントは、地域のケーキ屋さん5件からのいい匂いのするお菓子。大喜びの子どもたちに、言葉のプレゼントもありました。「皆さんは、地域の宝です。いつまでも見守っているの、これからも元気で頑張ってください。』『地域の宝』と言われ、子どもたちなりに、とても大切に思われていることを感じている様子でした。その後、作成したお礼の手紙には、「僕たちを地域の宝にしてくれて、ありがとう」というメッセージもありました。2年間の園生活の中で、地域の方と関わり、豊かな心が育まれたことを改めて感じたひと時でした。地域の皆様、温かいご理解ご協力ありがとうございました。



「おめでとう」「ありがとうございます」と、一人一人プレゼントをもらい、心と心が触れ合った「心プロジェクト」

## 就学に向けて

小学校生活を楽しくスタートするためには、心と体が元気なことが大切です。特別な事情の中でのスタートです。今まで身に付けた生活習慣や感染症対策の習慣を崩さないようにしましょう。健やかな成長のために、おだわらっ子の約束を家庭でも活用してください。おだわらっ子の約束は、小学校・中学校でも取り組んでいます。

3学期に交通安全教室を開催しました。その際、指導員の方が繰り返し言われていた言葉「お子さんに考えさせてください。」大人が全て教えてしまうと、一人で歩く時、言われた通りに行動しようとするあまり判断を誤ってしまうことがあります。通学路をお子さんと一緒に歩いてみてください。保護者の方が思っている危険でも、お子さんがそう感じていないなどずれがあることがあります。どこが危険か尋ね、気付かせ、自分で判断ができるようになることが『学校に自分で行くことができる!』という自信につながります。



ほし組さん、笑顔いっぱい元気いっぱいの1年生になってください!